

各 位

愛知県名古屋市北区上飯田西町3-60

アサダ株式会社

日刊工業新聞社主催「第20回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞」環境大臣賞受賞

配管機械・工具と環境機器の開発・製造・販売及び輸出入をおこなうアサダ株式会社（本社：名古屋市北区、代表取締役社長：浅田吉、資本金：221百万円）は、日刊工業新聞社主催「第20回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞」において環境大臣賞を受賞した。受賞内容は冷凍倉庫や寒冷地の空調機器のフロン漏れを検知できる「-30℃で検知可能なフロンリークディテクタ」である。

■ 背景

空調機器や冷凍機器に使用されているフロン類は地球温暖化とオゾン層破壊の原因であり、2015年にはフロンの漏れを防止するため「フロン排出抑制法」が施行され、定期的なフロン漏えい点検が義務づけられた。その中でも大量のフロンの使用する冷凍倉庫においては、国内で稼働しているものの約50%が-30～-20℃の温度範囲であるが、従来のフロン漏えい検知装置は操作温度が-20℃～のため対応できなかった。

2017年1月に発売を開始したフロン漏えい検知器「赤外線式リークディテクタLD316C」は業界初となる-30℃でもフロンの漏えい検知可能である。-30℃の環境において3g/年という微少な漏れを検知、漏れ早期発見が可能になり、フロン漏えいによる冷凍機器の故障や環境への影響を低減する。また充電式のリチウムイオン電池を採用することで、-30℃で連続運転時間2時間を実現、従来のアルカリ乾電池が30分であるのに対して十分な作業時間が確保できるようになった。

本製品が、第20回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞においてトップ賞の一つである環境大臣賞を受賞した。弊社はこれまでに同賞に4回応募、2007年に「高速フロン回収再生装置等の開発」で環境大臣賞を受賞、その他は優秀賞の受賞であった。本機の環境保護に対する効果が認められ、10年振りに環境大臣賞を受賞した。

■ 同賞受賞歴

- ・第4回 優秀賞 「CFC, HCFC、HFC 同時に回収可能な装置」
- ・第10回 環境大臣賞 「高速フロン回収再生装置等の開発」
- ・第17回 優秀賞 「高性能フロン回収再生装置の開発」
- ・第20回 環境大臣賞 「-30℃で検知可能なフロンリークディテクタ」

■ 本件に関するお問合せ先

報道関係のお問合せ先

アサダ株式会社 経営企画室 大森 TEL (052) 914-1209

<http://www.asada.co.jp/>